

キャラクター名  
孟 宇航 (もん ゆはん)

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス		ワークス	UGNエージェントD	カヴァー	UGNエージェント
	ウロボロス					
オプション			年齢	27	性別	男
覚醒	命令	衝動	嫌悪	初期侵食率	51 %	
出自	天涯孤独	経験	UGNへの忠誠	邂逅	ローザ・バスカヴィル	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	28
肉体	2	0	0			2	行動値	8
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	8
精神	4	0	0			4	戦闘移動	13
社会	0	1	0			1	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		1
回避			知覚	1		意志			調達		1
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN		1
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
[65] 輪廻の獣/アルマ・レガナム	P	N			
ローザ・バスカヴィル	P 連帯感	N 嫌気			
UGN	P 慕情	N 偏愛			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	4	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
レネグイドディソルバー	3	6	オート	至近	単体	自動	-	
効果: オートアクション打ち消し、Lv回/1S								
原初の黒: 時の棺	1	12	オート	視界	単体	自動	100%	
効果: 判定強制失敗、1回/1S								
原初の虚: ハイブリーディング	1	8	オート	視界	単体	自動	120%	
効果: 使用回数1回復、1回/1S								
原初の紫: 支配の領域	2	7	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 判定ダイスの目ひとつを1、1回/1S								
原初の赤: 世界樹の葉	1	6	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果: HP1まで回復。浸食値5上昇、Lv回/1S								
原初の黄: 灰色の庭	3	2	セット	視界	単体	自動	-	
効果: 対象の行動値-Lv×3								
原初の灰: 砂塵の帳	1	9	オート	視界	単体	自動	120%	
効果: 攻撃の判定強制失敗、1回/1S								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

UGN本部直属のUGNエージェント。世界各国の支部に派遣され、機密性の高い任務に臨むことが多かったが、コードウェル博士の帰還と都築京香によるゼノスの結成に伴って、しばらくは日本に滞在することになった。表向きの大まかな任務としてはUGN日本支部への協力、及び不審な動きがないかの監視であり、その立ちはばローザ・バスカヴィルに近く、現在は彼女が直属の上司ということになっており、日本支部においても「UGN本部派」の筆頭であるといってもいい。しかしながら、彼女を含める他の本部派と異なる点があるとすれば、派閥に関係なくUGN日本支部に所属するエージェントおよびチルドレンの監査、およびダブルクロス候補の密告、そしてダブルクロスの無力化までもが半永久的な最重要任務として命ぜられており、彼は日々監視の目を光らせている。

彼にとってUGNという組織が彼のすべてである。UGNが掲げる「オーヴァードとなったものを保護し、人間社会で暮らせるように支援すること、最終的にはオーヴァードが世界に受け入れられるようにする」という理想に近づくと信じ、本部からの通達に淡々と従っている。彼自身には穏便派強硬派という政治思想もなく、すべては中央評議会の意思を忠実に実現するためいい意味で真摯に、悪い意味で盲目的に任務に取り組んでいる。そのため本部の命令・規律を何よりも優先するため融通が利かなかつたり、それに背くようなこと、関係のないことをする同僚との人間関係でもめるなど、チームとしての問題点がないわけではないが、それごとおねじ伏せるだけの実力が彼にはあったのだ。彼がなぜそこまでの大義をUGNに感じているのか、なぜ自覚していそうなほどの思考停止に陥っているのか、そもそも彼が何者であるのかを知っているのかは、彼自身を除いて誰もいない。